



ゆい通信

2022年 1月 第5号



新年明けまして おめでとうございます



子ども達の元気な声や挨拶と共に、新しい年がスタートしました。4月にスタートしたゆりぐみも気づけば残り3か月。残りの園生活も一つ一つ素敵な思い出として子ども達の中に残していけるようにしたいと思います。また、就学に向け身の回りのことなど、自分のことは自分で出来るように意識しながら生活をしていきたいと思っています。

ぐっと寒さが増す1月ですので、感染症や体調にも十分に注意しながら生活をしていきたいと思っています。



今年の抱負は…？



クラスの壁面制作で、おいしそうなお雑煮と門松を作った子ども達。4月には上手く折ることが出来なかった折り紙も指先を使い、細かく複雑な折り目も自分たちで折ることが出来るようになりました。お雑煮作りでは、もちもちのお餅をお花紙と綿で表現。お花紙に綿を詰めすぎてなかみが溢れボリュームたっぷりのお餅も！！茶碗に盛りつけをする時には、『先生、人参入れたよ！！』『シイタケとネギも入れなきゃ！』『僕はうどんも入れたよ～！』と個性溢れる具がたっぷりの素敵なお雑煮が完成しました。

そんな中、話題は新年について。それぞれ頑張りたいこと、やって見たいことなど抱負を考えました。

はじめは『う～ん…。』と考え込む姿が多かった子ども達でしたが、一人が『縄跳び100回跳べるようになりたい！！』と言葉にし始めると、『勉強を頑張りたい！』や『逆上がりができるようになりたい！』など沢山の抱負が聞かれました。クラスの壁面に、一人一人の抱負が制作と一緒に貼ってありますので、是非子ども達の作品をのぞいてみてくださいね。



クリスマス会 ～頑張った最後の大舞台～



短い練習期間の中、毎日練習に励んできた子ども達。今年度はゆりぐみということで、遊戯の他に劇も加わり子ども達の意欲もいつも以上に見られていました。劇の配役を決める時には、みんなで話し合いをし、それぞれ自分の役に想像を膨らませながらセリフの練習をしていきました。食後の時間や帰りのお集りの前など自分たちで時間を見つけては練習に励む姿がとても印象的でした。初めてのステージ練習では少し緊張も見られ、セリフが小さくどこかぎこちなさが見られましたが、練習を重ねていくと自信もつき、堂々と気持ちを込めてセリフを言う姿はまるで舞台俳優のようでした。

また、上手くセリフが言えず困っている子がいるとさりげなくサポートする姿も見られ、同じ目標に向かいクラスが一つになっていく姿に成長を感じました。

メロディオンや歌では、音楽好きの子ども達はすぐに覚え、曲が流れると口ずさむ姿がありました。特に『てをつなごう』の歌では、歌詞に合わせ仲良くお友達と手をつなぎ歌う姿がとても可愛く見ていてほっこりしました。

遊戯では、どの曲にも楽しみながら練習する姿が見られ、時には自分たちが先生になり他のチームの子ども達に教える姿も！！

クリスマス会当日は緊張していた子ども達ですが、それよりもお父さん、お母さんに発表できる喜びの方が大きかったようで、クラスでの待機中も笑顔でステージへ向かうことを楽しみにする姿が見られました。ステージでは生き生きと発表する子ども達の姿に私たちもとても嬉しく、また、立派な姿に思わず涙が溢れてしまいそうになりました。

保育園生活最後の大舞台!! 心をつにし、楽しみながらやり遂げることができとても素敵な思い出を作ることができました。保護者の皆様には、ご協力をいただき、また、子ども達の頑張る姿を温かく見守り応援して下さったこと、本当に感謝しています。ありがとうございました。

